

製品安全データシート [混合物 (塗料用)]

1. 製品及び会社情報

製品名： CPスーパーマルチガードスプレー

製品説明 種類：防カビ・抗菌・消臭剤

会社名： キャピタルペイント株式会社

住所：〒569-0054 大阪府高槻市若松町8番10号

担当部門： 営業部

担当者： 仮屋崎隆

電話番号： 072-672-7330

FAX番号： 072-672-7336

緊急連絡先： 担当部門に同じ

E-mail アドレス： info@capitalpaint.jp

2. 危険有害性の要約

<GHS分類> 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性：全て区分外または分類できない

<GHSラベル要素> 絵表示、注意喚起語、危険有害性情報：全て該当しない

注意書き：

<予防策> 詳細は7. 取り扱い及び保管上の注意 8. 暴露防止及び保護措置を参照

<対応> 詳細は4. 応急措置 6. 漏出時の措置を参照

<保管> 詳細は7. 取り扱い及び保管上の注意を参照

<廃棄> 詳細は13. 廃棄上の注意を参照

3. 組成、成分情報

労働安全衛生法の通知対象物質、規定濃度を超過含有しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合： ミストを吸い込み気分が悪くなった時、直ちに空気の清浄な場所へ移り、呼吸しやすい姿勢で安静にする。気分が回復しない場合、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 付着物を布で素早く拭き取る。水および石鹼・皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。かぶれ等外観に変化、また痛みを生じた場合には、医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合： 直ちに清浄な水で入念に洗い流す。刺激が続く時、医師の診断を受けること。コンタクトレンズは外し、まぶたの裏まで十分に洗い流すこと。
- 飲み込んだ場合： 誤って飲み込んだ時、直ちに口をすすぎ、安静にして医師の診断を受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。また医師の指示以外、無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

通常的环境下、製品として燃焼しないと考えられる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

作業の際には適切な保護具（保護マスク・保護手袋・保護メガネ等）を着用する。処理中は換気を充分に行う。

環境に対する注意措置

河川への排出などにより、環境への影響を起ささない。汚染の生じる場合は、関係機関に連絡する。

回収および浄化方法と機材

漏出物は布などで拭き取り、漏出した液は数倍の流水で希釈すること。

7. 取り扱い及び保管上の注意

<取り扱い>

使用説明書をよく読み、理解するまで取り扱わない。本来の用途以外に使用しないこと。

保護具を付け、皮膚・眼などに付着しないよう注意すること。

作業中は適切な保護具を着用して暴露・汚染防止に努める。コンタクトレンズの着用は好ましくない。

取り扱い中は、飲食を慎むこと。

使用後は直ちに密栓する。手洗い・うがいを充分に行い、休憩所に手袋などの汚染保護具を持ち込まない。

<保管>

直射日光・熱源を避け冷暗所にて保管する。また凍結させないこと。
湿度の高い所や設置面に水分の多い所は避けて保管する。
子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

主要成分の管理濃度・許容濃度規定および情報なし。

<設備対策>

できるだけ換気を促す。

<保護具>

呼吸器の保護具： 適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具： 水分が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具： 保護メガネを着用すること。
他の保護具： 保護衣など。

9. 物理的及び化学的性質

| | | | |
|----------------|-----------|----------|--------------|
| 状態：液体 | 色：無色透明 | 臭気：ほぼ無臭 | 比重：1.00～1.06 |
| 沸点：100～110℃ | 発火点：なし | 引火点：なし | |
| 爆発限界：(下限) 情報なし | (上限) 情報なし | 蒸気圧：情報なし | |

10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の保管・取り扱い条件では、安定と考えられる。
危険有害反応性の可能性： 水が蒸発して固形分が燃焼すれば、CO・NOx等の有毒ガスを発生する恐れがある。
避けるべき条件： 光・高温・凍結を避ける。

11. 有害性情報

健康に対する有害性： 下記GHS項目は、製品として区分外または分類できない
急性毒性／経口・経皮・吸入、皮膚腐食性及び刺激性、眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性、呼吸器感作性
皮膚感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、生殖毒性、特定標的臓器毒性／単回・反復暴露、吸引力呼吸器有害性

12. 環境影響情報

漏洩・廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。
製品および洗浄水が、地面・川・排水溝に流れないように対処すること。
生態毒性：情報なし 残留性・分解性：情報なし 生態蓄積性：情報なし 土壌中の移動度：情報なし
水生環境有害性／急性および慢性：製品として区分外または分類できない
オゾン層への有害性：分類できない（モントリオール議定書に定める成分は含有しない）

13. 廃棄上の注意

水で希釈して廃棄する。空容器は内容物を完全に除去して処分する。

14. 輸送上の注意

容器の破損・漏れがないことを確かめる。転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
取り扱い及び保管上の注意の記載に従うこと。

<国内規則>

陸上輸送、海上輸送、航空輸送：それぞれの法令基準に従い、積載・運送を行う。

<国際規則>

国連番号、国連輸送名、国連分類、容器等級、海洋汚染物質：全て該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法、化学物質管理促進法、毒物劇物取締法、消防法：全て該当しない

16. その他の情報

主な引用文献：J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 2 G H Sに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル 作業場内の表示及び安全データシート（SDS）、GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック改訂第2版（日本塗料工業会）
独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）公表データ、原料メーカーSDS（各社）ほか

<注意>本データシートは、「製品の適切な取り扱い」を提供するものですが、安全性を保証するものではありません。
全ての化学物質には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。
特殊な条件で使用される場合には、使用者各位の責任において事前に安全性などの確認を行って下さい。
なお記載内容は、現時点での情報に基づいておりますが、新たな知見により改訂される場合があります。